

## 1. 第四次長野市総合計画 実施計画における重点施策の取組状況及び今後の展開

重点施策 【担当部署】 / (担当課)	19年度実施計画の内容に関して			今後の展開
	19年度版実施計画「重点施策・今後の展開」	19年度における具体的な取組状況(概略)、特記事項等	進捗状況	20年度以降の重点施策の展開
1. 多様な観光交流の推進 【産業振興部】 (観光課)	・ドラマ「風林火山」関係の観光施設・受入態勢の整備など	大河ドラマ「風林火山」特別企画展を開催し、目標の22万人を超える22万2,598人が来場した。また「川中島の戦い」語りべの会によるボランティアガイドや説明看板の整備等により受け入れ態勢を整えた。	概ね完了	・H20年度は「飯綱高原イヤー」と「善光寺イヤー」の集中キャンペーンを展開する。飯綱高原イヤーは、住民の主体的な活動による飯綱高原ブランドづくりを支援する。善光寺イヤーはH20～21年度の2年間行い、山門落慶と御開帳を中核に、新たな「善光寺詣り」を提案していく。 ・H21年度以降も、鬼無里、松代の「地域ブランド」創出・強化に向けた取り組みを行う。 ・信州北回廊プロジェクト、集客プロモーションパートナー都市など広域観光事業を推進する。 ・外国人旅行者の誘致に向けた、ながの観光コンベンションビューローの活動を支援する。
	・戸隠イヤーの開催、H20以降は飯綱、鬼無里など年度ごとの展開	「戸隠イヤー」キャンペーンを展開。古道整備とそのウォーキングイベントの開催や、食・宿泊パックの開発などにより、4月～12月の入り込み客数で前年比6.1%の増加	実施中	
	・善光寺本堂三百年で民間と連携した協力事業	善光寺および民間団体が行う事業との連携を図るとともに、協力委員会が実施するイベントや植樹等の事業に補助を行った。	概ね完了	
	・外国人旅行者の誘致の研究	(財)ながの観光コンベンションビューローが実施する外国語の観光パンフレットの制作、海外旅行エージェント・マスコミ関係者の取材招待事業、インバウンド商談会などを支援した。	実施中	
2. 多彩な文化の創造と文化遺産の継承 【教育委員会】 (生涯学習課、文化財課)	・今後の芸術文化振興のあり方検討(H20に計画策定)	「長野市芸術文化振興方針策定会議」を設立し、検討を開始した。	実施中	・芸術文化振興に関する計画はH20年度中の策定を目指す。 ・善光寺周辺の伝建地区選定に向けて、追加調査を行うとともに、地元との合意形成を行っていく。世界遺産暫定リストの結果は、H20年8月頃に判明するため、その結果を見て対応を検討する。 ・大室古墳群、新御殿跡、旧樋口家住宅などの文化財保存整備は、引き続き整備を進め、利活用などを検討する。 ・戸隠地区自然史系博物館は、H20年7月の開館を目指し、新たな発想と企画のもとに利用者やリピーターを拡大することに努める。
	・善光寺周辺の伝建地区指定に向けた調査、世界遺産に向けた取組	歴史的建造物調査を実施し調査報告書を作成。これに基づき世界遺産暫定リスト提案書を文化庁に提出した。	実施中	
	・大室古墳群、新御殿跡、旧樋口家住宅などの保存整備	年度計画に基づき保存整備を実施 (大室...古墳整備工事、環境整備工事 新御殿跡...建物修理・土蔵等修理工事、旧樋口家...長屋・土蔵修理工事、主屋修理工事)	実施中	
	・公文書館開館(H19)、戸隠地区の自然史系博物館整備(H20開館)	戸隠地区自然史系博物館の建築工事、展示工事、シックハウス等調査を実施。長野市公文書館はH19年11月20日に開館した。	実施中	
“ながの”の魅力をいかす 3. スポーツを軸としたまちづくり 【教育委員会】 (体育課)	・スケート国体の開催(H19)、全中スケート大会を今後10年間開催	国体スケート競技会を平成20年1月26日～30日の5日間開催。全国中学校スケート大会は平成20年2月2日～5日の4日間開催され、今年から10年間継続して開催する。	実施中	・全国中学校スケート大会を今後9年間継続して開催する。 ・長野県民球団「信濃グランセローズ」等の地域密着型のチームに対し、活動の場を提供するなどの応援をしていく。また、サッカーチーム「AC長野パルセイロ」のJFL昇格に向け、官民一体の支援体制を構築する。 ・オリンピック施設をはじめとした大規模スポーツ施設を計画的に改修し、国際的・全国的なスポーツ大会の開催などで有効活用を図る。 ・スポーツ団体等への活動支援及びスポーツ大会開催支援や体育施設の管理運営など、スポーツ振興のための政策を具体的に推進するためスポーツ振興計画をH20年度に策定する。
	・地域密着型チーム(グランセローズ、パルセイロ)の活動の応援	地域貢献活動を前提とした競技場使用料の減免や、クラブハウスと練習場の貸与等を通じ、両チームに活動の場を提供している。また、パルセイロ支援強化に向けた官民一体の推進協議会の設立に向け検討中。	着手見込み	
	・大規模スポーツ施設の計画的改修	大規模施設の改修計画に基づき、計画的な維持・修繕を行っている。H19年度はオリンピックスタジアム観客席防水工事を実施	実施中	
	・国際的、全国的なスポーツ大会の開催	長野マラソン、長野オリンピック記念国際アイスホッケー大会、エムウェーブ競技大会、日中友好交流都市小学生卓球大会の開催を行った。また、スポーツ振興の具体的な計画としてスポーツ振興計画の策定作業を開始した。	実施中	
4. コンパクトなまちづくりの推進 【都市整備部】 (都市計画課、まちづくり推進課)	・開発型から保全型への土地利用転換、ストックを活用した持続可能なまちづくり	戸隠地域の自然環境保全等の観点から都市計画区域の指定を検討するための建物現況等の基礎調査を実施	実施中	・都市計画マスタープランに沿い、区域区分による計画的な規制・誘導により、外延的な市街地の拡大を抑制するとともに、都市の資産(ストック)を活用しながら拠点地域の形成を図り、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進する。 ・中心市街地活性化基本計画に沿い、国の支援等を得ながら各種事業を推進するとともに、各事業の進捗状況等のフォローアップを実施する。 ・暮らし・賑わい再生事業の事業計画書策定に向け、地域、関係者等とともに勉強会を進める。
	・区域区分による規制・誘導、外延的な市街地拡大抑制と拠点地域の形成	線引き見直しのための人口推計等の調査を実施。また、準工業地域に10,000㎡以上の大規模集客施設立地を制限する特別用途地区を決定	実施中	
	・中心市街地活性化基本計画に沿った事業展開	基本計画に沿って国の支援を得るため、4事業を変更し、1事業を追加。各事業の状況についてフォローアップを行っている。中央通り歩行者優先道路化に向けた社会実験を春3日、秋1ヶ月実施	実施中	
	・中心市街地の都市機能の集積を図る「暮らし賑わい再生事業」	長野駅前、権堂地区において地元住民、商店会、地権者等による勉強会を立ち上げ、話し合いを行っている。	実施中	

		19年度実施計画の内容に関して			今後の展開	
重点施策 【担当当局】 / (担当課)		19年度版実施計画「重点施策・今後の展開」	19年度における具体的な取組状況(概略)、特記事項等	進捗状況	20年度以降の重点施策の展開	
5. 中山間地域の活性化  【産業振興部】 (農政課、企画課)		・遊休農地の復元など中山間地域農業の維持、生産性の向上	中山間地域等直接支払制度は、第2期5年の中間年にあたり、各集落の実行状況を確認し指導を実施。優良農地復元事業を戸隠地区など4地区で実施。有害鳥獣防除対策として、14地区に設置された対策委員会を中心に、電気柵の設置や檻・罠の購入、駆除対策などを実施。	実施中	・中山間地域等直接支払制度を利用し、地域の農業生産の維持に努めるだけでなく、中山間地域に適した作物(大豆・ソバ)の作付による遊休農地の利用を図る。更に有害鳥獣の防除対策は、集落の状況に即して集落ぐるみで進める。	
		・都市農村交流推進(受入態勢の整備、指導者等の人材育成)	農業交流体験事業は、芋井・信里・七二会・戸隠の4地区で地域の農業者団体が中心となり、H19年度から「食農体験」、「米のオーナー制」など地域の状況に合せた内容で実施。また、農家民泊については、鬼無里地区で中学生(7校952人)、大岡地区で小学生(2校95人)を受入れた。	実施中	・都市農村交流は、農業体験交流の内容の充実や募集方法の検討を加え、より多くの交流人口の拡大を目指し、地域農業の活性化につなげる。また、農家民泊の拡大に向け、新たに取り組む地域で組織作りなどを進める。	
		・農、林、観光業が連携しグリーンツーリズム推進	産業振興ビジョンの重点プランである「グリーンツーリズム推進プラン」の推進本部を設置し、実施計画を策定(特定課題として検討中)	実施中	・長野市農業公社を中心に、特産品販売などを行う地域の活性化グループのネットワーク化や地域ブランド化を支援するとともに、大学等と連携した「ふるさと援農隊」による農作業支援や交流を推進する。	
		・崩壊の恐れある過疎地域の生活やコミュニティーの支援のあり方検討	中山間地域を支援することを前提に、支援対象とする具体的な地区、生活支援員業務内容・人数等、望まれる支援のあり方を検証するための実証実験の実施を検討。	着手見込み	・高齢化や人口減少で崩壊の恐れのある過疎地域の生活やコミュニティーについて、住民自治協議会等と協議の上、生活支援の在り方を検証するための実証実験を実施する。	
6. 省資源・資源循環の促進  【環境部】 (環境管理課、環境第一課)		・新エネ導入モデルとして大岡地区で小水力発電	発電機最大出力6.7KW、最大流量0.08m <sup>3</sup> /sにて発電し、大岡小・中学校へ供給し(所要電力の約1/2を賅う)、余剰電力は売電する。	実施中	・3Rによるごみの減量・再資源化をより促進するため、H20年度に住民説明会を開催するほか、市報等を活用して分別方法やごみを減らすポイントなどPRに努めるとともに、資源物の再生利用に取り組む市民・団体を支援していく。また、ごみ減量・再資源化に有効な手法のひとつであるごみ処理手数料の有料化についても検討していく。	
		・ESCO事業の積極的導入	長野運動公園のESCO事業がスタートし、計画削減量を上回る削減を達成する見込み。他の市有施設への導入を検討したが、H19年度は新規導入なし。	実施中	・新エネルギー導入推進に向け、風力小水力発電の可能性調査により絞りこんだ小水力発電の候補地についてデータ収集を行なう。	
		・分別の徹底による、ごみ減量・再資源化の促進	ごみ収集カレンダーや市報などを活用してごみの分別方法などルールの徹底を図った。また、資源物の再生利用に取り組む市民・団体に対し、資源回収報奨金・生ごみ自家処理機器購入費補助金・リサイクルハウス設置補助金などを交付し支援した。	実施中	・ESCO事業は、市民病院への導入可能性を検討し実施していく。 ・公共施設への太陽光発電設備設置など、地球温暖化防止に向けた取組を実行するとともに、H20年度に地域全体の推進計画を策定していく。	
7. 魅力ある教育の推進  【教育委員会】 (教委総務課、学校教育課)		・基礎学力調査の拡大など授業改善、学力向上	H19年度は新たに小学5年生を加え、小学5・6年生と中学2年生を対象に基礎学力検査を実施。授業改善や学習指導、教育課程の改善に活かした。	実施中	・小学5・6年と中学2年を対象に基礎学力調査を実施する。調査結果を分析し授業改善や学習指導、教育課程の改善を図り、学力の向上に努める。	
		・教員補助員、巡回相談員など相談・支援の充実、教職員研修の充実	障害により特別な支援を必要とする児童等の支援の充実のため、10月から特別支援教育支援員を32校に配置。不登校児童生徒が増加傾向にあり、予防・解消に向けた体制の強化、施策の充実が必要。教職員研修ではH19年度はいじめに関する講座を開催し内容の充実を図った。	実施中 研究中	・特別な支援を必要とする児童等が在籍する学校への特別支援教育支援員の配置を拡大する。 ・不登校対策検討委員会(仮称)を設置し、不登校の予防等の対策を検討する。	
		・H34まで計画的な学校耐震化、裾花、城東小ほかの整備	学校耐震化の実施(耐震診断19棟、補強設計17棟、補強工事11棟)学校の改築整備等の実施(裾花小増改築、城東小改築、下氷鉋小増改築、芹田小プール改築、大豆島小仮設校舎建設、柳原小実施設計)	実施中	・学校施設の耐震化をH34年度目標に計画的に推進するほか、城東・柳原・大豆島・篠ノ井西小学校及び豊野中学校の増改築整備を進める。	
		・市立長野高校の建設(H20年4月開校)	校舎第一期建設工事を実施(H20.3竣工予定)	概ね完了	・市立長野高等学校が男女共学・単位制総合学科高校として開校。校舎の竣工(第一期工事)に伴い、既存校舎の解体と複合体育館の建設を進める。	

		19年度実施計画の内容に関して			今後の展開	
重点施策 【担当当局】 / (担当課)		19年度版実施計画「重点施策・今後の展開」	19年度における具体的な取組状況(概略)、特記事項等	進捗状況	20年度以降の重点施策の展開	
いきいきとした人と地域をつくる	8. 産業の集積と工業の活性化 【産業振興部】 (商工振興課)	・産学行連携の推進体制整備(アドバイザー、コーディネーターを配置)	新たに経営アドバイザーと産学連携コーディネーターを長野市ものづくり支援センターに配置し、地域企業のコーディネートや地域ネットワークの強化、センター入居企業の総合的サポート等を実施している。	実施中	・地域企業の課題把握と施策への反映を目的に、インキュベーションマネージャー等による企業訪問を実施する。 ・地域再生計画に認定された、伝統的食品加工技術における人材育成事業「ながのブランド郷土食」を信州大学と共同で行うほか、ものづくり経営の実践講座など新たな人材育成事業に取り組む。 ・企業立地の環境整備に向けて、既存工業系地域内で利用可能な用地の開発・整備を行うとともに、空き工場・空き事務所などの情報収集、あつ旋等を行う。 ・産業集積の促進に向けて、企業立地促進法による基本計画(長野・千曲・須坂・高山地域)に基き、企業立地や産業活性化に取り組む。また、産業集積を図る業種及び企業等の調査を行い、特定産業の集積に向けた戦略を策定し、誘致・育成を行う。 ・新たな組織を設置し、企業立地等における企画・誘致活動及び産業団地造成・管理運営を一括して担当する。	
		・産学間、企業間の共同研究支援による人的ネットワーク構築促進	新たに新産業創出ワークショップ支援事業補助金を創設し、産産や産学の連携による研究会活動を支援。また、UFO長野ものづくりサロン等の事業を通じ、人的ネットワークの構築を実施している。	実施中		
		・企業立地、雇用促進に向け、豊野東部工業団地の第二期工事、及び雇用創出企業立地支援事業の活用	豊野東部工業団地の第二期工事が10月末に竣工し、6区画の内3区画について分譲の申込があるほか、3区画が企業と交渉中。また、雇用創出企業立地支援事業では、3社に対して助成を行っている。	実施中		
	9. 子育て・子育て環境の整備 【保健福祉部】 (児童福祉課、保育課、生涯学習課)	・児童館、児童クラブ等、子どもの放課後等の居場所づくりを推進	「長野市放課後子どもプラン推進委員会」を設立、放課後対策事業についての素案を作成した。パブリックコメントを経て、2月下旬に「長野市放課後子どもプラン」を策定予定。	実施中	・H20年度は、「放課後子どもプラン推進室」を設置し、モデル校を決めて「放課後子どもプラン」を推進する。できる限り早く、全小学校区の「放課後対策事業」を「放課後子どもプラン」に移行することを目指す。 ・地域子育て支援センターは、H21年度までに14園を目標に取り組んできたが、国庫補助の大幅な見直し等により、H20年度早々に今後の支援センターのあり方を再構築し進める。 ・三輪保育園はH20年度に引継ぎ保育を実施し、H21年度からの円滑な民間委託を目指す。川田・下氷鉤・城東保育園はH22年度からの委託を目指す。保護者や地域関係者との協議を引き続き進める。 ・障害児保育事業補助金の補助区分見直しによる、保育園における障害児の処遇向上を図る。 ・民間事業所と連携し、子育て世帯に買物割引サービスを行う子育て応援カードの発行を検討、実施する。	
		・地域子育て支援センターの増設	H19年度に改正された国の「地域子育て支援拠点事業」を活用して13カ所で実施。また、自主事業として1カ所で実施。	実施中		
		・市立保育園の民営化、特別保育実施園の増園など保育サービス向上	三輪保育園は、選考委員会の決定を受け、平成21年度からの民間委託とした。川田・下氷鉤・城東保育園は、民営化のスケジュールを提示して具体化に向けた話し合いを行い、理解を得るよう努めてきた。延長保育及び一時保育について各1園ずつの増園を実施	実施中		
		・幼保一元化の促進	認定こども園(幼保連携型)2園について、児童福祉法に基づく運営費を支弁し、適正な保育の確保に努めた。在園児数66名(1月1日現在)	実施中		
	10. 防災対策の推進 【総務部】 (危機管理防災課、河川課)	・指定地区の土砂災害ハザードマップ作成	H18年度に土砂災害警戒区域等に指定された七二会・安茂里・小田切地区の土砂災害ハザードマップを作成し、関係住民等へ配布を行った。	実施中	・H20年度は、篠ノ井、松代、若穂及び信更地区の土砂災害ハザードマップを作成し関係住民等へ配布を行い、H21年度以降は、県から指定された地区から順次作成し関係住民等へ配布を行う。 ・自主防災組織の育成・強化を図るため、連絡協議会の設置を促進するとともに、自主防災組織による地域防災マップの作成や防災訓練の実施等を促進する。 ・一般住宅の耐震対策は、耐震改修促進計画に基づき、当初計画(H23年度迄)をH27年度まで延長して実施する。H20年度は震補強工事補助20件を計画 ・河川、排水路、雨水調整池、排水機場等の施設を総合的に整備し、浸水被害の防止、治水対策の強化を図る。	
		・自主防災組織の育成、地域防災マップ作成や防災訓練実施の促進	H19年5月に自主防災結成率100%(460区)を達成。さらに自主防災組織の統括、連携を図るための連絡協議会が30行政区中、17地区で結成され防災訓練が積極的に行われた。	実施中		
		・一般住宅の耐震に対する補助金交付	S56年以前の旧耐震基準で建築された戸建て木造住宅の耐震補強工事に対し60万円を限度に31件の補助を実施	実施中		
		・浸水被害に対する下流域の排水能力増強など災害対策の充実	H19年度は北八幡川排水機場の土木・建築工事の発注、南部ポンプ場の建築・電気・機械工事の施工、赤沼ポンプ場の一部工事を実施。	実施中		